



《 施工手順書 》

カイク塗料 コンクレタール・ラスワ
カラークリア仕上げ

1	下地準備		適用下地	●コンクリート、セメントモルタル、ALCパネル（※）、コンクリート・ブロック
			割れ・破損・浮き	●防水処理、補修がしてあり、仕上げに支障の内容に下地調整されている事
			不陸・目違い	●塗材の希釈率、厚さ、色の種類等により許容可能な範囲に処理されている事
				●下地は良好な状態を確認（希釈仕上げでは下地状態が仕上げ後に反映される）
			下地の強度	●十分な付着性の為、塗材以上の強度と剛性を有している事
			下地の乾燥	●コンクリート下地は含水率10%以下に乾燥させて下さい
			下地の吸湿性	●下地に吸湿性がある事（金属、プラスチック等には塗装不可）
				●下地が鏡面状態で吸湿性が無い場合、サンダー等で荒らし吸湿性を確保
			不純物の付着	●下地は正常な面とし、じんあい、油脂、サビ、コンクリート/モルタルのこぼれが無い事
				●下地は型枠離型剤、白華、レイトンス、藻、カビ等が無い事
				●既存の塗膜等、もろく不安定な箇所は取り除いて下さい
			養 生	●作業中の飛沫が塗装しない周囲にかからないようにマスキング・養生する事
				●塗装後、乾燥するまで直射日光、風、雨から保護して下さい

2	施 工	下塗り (1回目)	工 法	●ローラー塗り、刷毛塗り、吹付け
			塗材の攪拌	●自然顔料等が容器の底に沈殿している為、作業前に充分攪拌する事 ●塗装中も頻繁に攪拌して下さい
			希釈率	●希釈液で主材を希釈する（注：上水等の専用希釈液以外は不可）
				●ハカリで本材と希釈材の重量を正確に計量し目的希釈率にする（希釈見本参照）
			試塗り	●材料の攪拌度合いをベニヤ板等で確認して混合された塗材を塗布
		仕上げ塗り (2回目)	2回目塗り	●下塗りと同じ工法で塗装。パターンがある場合パターンずれが無いか確認する事 ●事前準備の塗見本と比較してテクスチャー、色彩、仕上厚に差異が無い事を確認

工 程	材 料	調 合	所要量		間隔時間（h）		
		(希釈比率)	(L/m ²)	塗回数	工程内	工程間	最終養生
主材塗り 又は 希釈混合材塗り	コンクレタール・ラスワ、希釈材	設計指定	約0.225	1	2以上	12	12
	コンクレタール・ラスワ、希釈材		約0.225	1			

※施工前に
試塗りにより
判断下さい

SGM株式会社

〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原6-14-2-103

電話： 042-814-7542



《 施工手順書 》

カイク塗料 コンクレタール・ラスワ
カラークリア仕上げ

3	施 工 条 件		気 温	●+5℃～30℃で塗装作業を行う事
			天 候	●直射日光下、太陽で熱せられた状態、雨天、降雨の可能性が大きい場合は中止
			乾燥時間	●塗装と塗装の乾燥時間は最低でも12時間
4	所 要 量		2回塗りの場合	約0.45L/m ² （下地吸収率による為、試し塗りで決定下さい）
5	用具取り扱い		作業中	●作業休憩時間中も用具は塗料や水に浸漬して下さい
			作業終了後	●刷毛、ローラーは使用后直ぐに水で洗浄して下さい
6	作 業 環 境		換 気	●狭所、密閉された作業環境では確実に「換気」を行って下さい
7	塗 材 保 管		場所/期限	●使用後は容器をしっかり密封し、冷所で霜がかからない場所で約12か月です
				●直射日光・熱にご注意下さい
8	廃 棄		規制準拠	●容器の廃棄処分については、行政上規制に準拠し如何なる残滓物も無き事